一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年第 1 回定例会

質 問 者	質 問 事 項	答 弁 を 求める者
立石 靖夫 議員	1　町長の選挙公約実現状況は (1)　公共事業の拡大と雇用促進はどのように図られつつあるか。 (2)　ＪＡＸＡ及び関連企業で町民の雇用創出は図られたのか。 (3)　公立種子島病院の運営状況と平成 28 年度決算見込みを示せ。 (4)　市街地の中心に駐車場、トイレはいつ設置するのか。	町　長
	2　町民の福祉向上と町政発展の政策実現は (1)　シルバー人材センター設置と運営状況を示せ。 (2)　堆肥センター運営は、本年度中に民間委託するのか。 (3)　キャトルセンター運営の赤字対策は、子牛確保と預託料の値上げをすべき。	町　長
	3　町税の課税客体は適正か (1)　インターネット販売の安納イモは課税されているか。	町　長
河野 浩二 議員	1　町長の施政について (1)　前期 2 年間の実績と反省について (2)　後期 2 年間の課題について (3)　マニフェストの達成率は。	町　長
	2　有人国境離島法について (1)　確定した内容を示せ。 (2)　南種子町における活用を示せ。 (3)　奄振との違いは。	町　長
	3　ゴミ問題について (1)　燃えるゴミのゴミ袋に名前を記している割合は。 (2)　事業用生ゴミが一般家庭用ゴミとして出されていないか。	町　長
	4　堆肥センターの運営と方向性について (1)　良質な堆肥を製造する為どのような努力をしているか。 (2)　民営化を含めて今後どのような運営をしていくつもりか。	町　長

大﨑 照男 議員	1　防災対策について （1）　避難所について ①　避難所での食べ物、飲み物、寝具、携帯トイレの確保はできるのか。 ②　自力で避難所へ行くことのできない人への対応はどうするのか。 2　バス停留所について （1）　屋根付き、壁付きの待合所ができないか。 3　茎永地区河川について （1）　馬渡川改修工事の進捗状況について 4　平山地区河川等について （1）　西ノ園水路改修工事の進捗状況について （2）　向井里水路改修工事の進捗状況について （3）　大浦川改修工事の進捗状況について 5　農道整備について （1）　木原水田地帯農道をアスファルト舗装かコンクリート舗装にできないか。	町　長 町　長 町　長 町　長
柳田　博 議員	1　教育行政について （1）　平成 29 年度より全面無償化になる学校給食について ①　食の好き嫌いの現状は。 ②　給食の残食の現状は。 ③　給食費の滞納者、有れば金額は。 ④　食のありがたみ、安全という事についての指導教育は。 （2）　児童・生徒の修学旅行について （3）　いじめ問題について （4）　本町の学校施設の耐震対策について 2　地域防災について （1）　これからの防災・危機管理について ①　本町のホームページや広報紙で周知しているマップは信用・信頼できるものであると思うか。 ②　徹底した予防訓練が必至であると思うが執行部の思い考えは。	教育長 町　長

柳田　博 議員	③　本町の防災備品、防災時の保存食等はどれ位備蓄しているものか。 ④　今後の災害後対処訓練と災害予防訓練を重視していかなければいけないと思うが訓練計画を早々に示せ。 3　有人国境離島法について (1)　有人離島振興法対策に県は 13 億円と計上され貨客の輸送量補助が発表された。県がもう少し補助率を上げ地元市町村の負担分をできる限りおさえるべきと考えるが町長の考えを。 (2)　農水産物の島外への輸送費補助についても農協・漁協など生産団体が 20%を負担となっているがその負担分については生産者の負担にかえってくると思う。輸送費の補助率も国・県でおおむね負担するべきと思うが町長の考えは。	町　長 町　長
塩釜 俊朗 議員	1　交通弱者対策について (1)　交通弱者に対する町の政策について (2)　町内の免許証の返納者数と町の特典を示せ。 (3)　特典の追加は考えているか。 (4)　デマンドタクシーについて 2　南種子町物産館について (1)　トンミー市場の今年度収支の見込額を示せ。 (2)　高齢化による生産者の集配等はできないか。 (3)　バス停はできないか。 (4)　道の駅指定の申請をすべきではないか。 3　平山千座の岩屋周辺の整備について (1) 千座の岩屋が風化している。対策工事をすべきではないか。 (2) 遊歩道現地確認し計画できるか検討したか。 (3) 空き地にキャンプ場の整備を。 4　広域観光ルートの設定について (1)　浜田千座の岩屋周辺から中種子キャンプ場間をウォーキングコースとして協議し、設定すべきではないか。	町　長 町　長 町　長 町　長
上園 和信 議員	1　水田農業への対応策について (1)　50 年余り続いてきたコメの減反政策、2018 年 4 月から廃止される。これによりコメ農家が自らの判断で作付けできる	町　長

上園 和信 議員	ようになり、コメ政策 50 年ぶりの大転換といわれている。本町水田農業の現状は。 (2)　減反政策廃止後の水田農業へどう対応していく考えか。 2　ほ場整備事業計画について (1)　計画されている茎永地区ほ場整備事業、その目的は。 (2)　ほ場整備の計画区域は。 (3)　ほ場整備計画の概要を。 (4)　個人負担の有無は。「あり」の場合何パーセント負担か。 (5)　地元説明会開催とその時出された質問、意見・要望等は。 (6)　田等の冠水対策、改修に向け事業計画に盛り込まれているか。 3　農業施設の経営対策について (1)　開設当初から赤字続きの堆肥センター、農業振興にも繋がっていない。この施設を活かし、農地の地力増強と作物の生産性を高めていかなければならないと考える。施設の経営方針を。 4　宇宙留学制度の充実策について (1)　平成 29 年度宇宙留学生の応募状況と受入れ決定者数を。 (2)　家族留学世帯数と人員は。 (3)　家族留学世帯に対する支援策、何か考えているか。	町　長 町　長 町　長 教育長 教育長 町　長
日髙 澄夫 議員	1　4 月に施行される「有人国境離島地域保全特別措置法」について (1)　この法律を活用して、南種子町の活性化にどうつなげていく考えか。 (2)　地方創生推進交付金と絡めた南種子町再生の事業展開はできないか。 2　国保税の賦課・徴収について (1)　平成 27 年度に創設された支援金が平成 29 年度も維持されているので国保税を引き下げること。 (2)　鹿児島県が示す一律の保険税率について無視する考えがあるか。 (3)　一般会計の法定外繰入について継続する考えがあるか。 (4)　短期被保険者証世帯で子どもの国保証が窓口留め置きになっていないか。	町　長 町　長